

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
150	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
International trade agreements challenge tobacco and alcohol control policies. 国際貿易協定はタバコ・アルコール対策と対立する	
執筆者	
Zeigler DW.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Drug Alcohol Rev. 2006 Nov;25(6):567-79. Review.	
キーワード	
アルコール・タバコ対策、貿易、貿易協定	
要 旨	
<p>タバコ・アルコール対策と対立する貿易協定の側面について解説する。貿易協定は貿易障壁を撤廃し、競争促進、価格を下落させて消費を拡大させる。反対に、タバコ・アルコール対策では、健康問題・社会問題を小さくするために、手に入りにくくさせて消費を抑え、価格を上昇させ宣伝・広告を制限することを求める。しかしながら現状、公衆衛生の立場からの助言を容れずに、貿易の専門家で検討されている懸案の国際協定では、政府および企業はこれらの予防策を貿易抑制策として反対するかもしれない。識者は、自由貿易と公衆衛生の間に内在する矛盾を認識した上で、アルコールとタバコを貿易協定の枠から除外するよう働きかけるべきである。たばこ規制枠組み条約 (Framework Convention on Tobacco Control) はタバコ対策を守ることで、アルコール対策のモデルと成り得る。</p>	